

参加無料・要申込

かながわオーガニックコミュニティー協議会

令和6年度 第2回公開セミナー

# 緑肥を活用した センチュウ抑制技術

～協議会の実証圃場データをもとに学ぶ～

日時

2025年

2月7日

金

14:00-16:30

神奈川県農業技術センター 多目的ホール（平塚市上吉沢1617）

講師：豊田剛己氏（農学博士／東京農工大学 農学研究院 生物システム科学部門教授）



名古屋大学農学部農芸科学科を1988年に卒業後、同大学大学院農学研究科で博士前期課程および博士後期課程を修了し、1993年に博士（農学）の学位を取得しました。

1994年から名古屋大学農学部土壌生物化学教育研究分野、2000年からは東京農工大学大学院生態系型環境システム教育研究分野にて、持続可能な農業生産システムの確立に向け、土壌生物や病害抑止型土壌の研究を進めています。

当日プログラム（予定）

- ・ 緑肥を活用したセンチュウ抑制技術の基礎解説
- ・ 緑肥作物「スナイパー」を施用した土の分析結果をもとにした、実践的な解説や考察
- ・ 会場からの質疑応答

主催：かながわオーガニックコミュニティー協議会 / セミナー運営：一般社団法人 次代の農と食をつくる会

お申し込み

右記のQRコードよりフォームに必要事項を  
ご記入のうえ、お申込みください（定員50名・先着順）

生産者の方、農大の学生の方、農業を学んでいる方、  
自治体の職員の方等、どなたでもお気軽にご参加ください。



**集合場所：神奈川県農業技術センター**  
**平塚市上吉沢1617 TEL 0463-58-0333**

JR平塚駅より平37・平38・平76系統のいずれか、吉浜下車  
 徒歩4分 / 小田急秦野駅より平76系統、又は秦38・秦39  
 系統の終点で平37・平38系統に乗り換え、吉浜下車徒歩4分

※セミナー内容に関する会場へのお問い合わせはご遠慮ください。



【セミナーに関するお問合せ先】

〒107-0052 東京都港区赤坂3-19-1 東京農村4F 一般社団法人 次代の農と食をつくる会  
 電話：050-8893-0159 (事務局 平日10-17時) info@jidadainokai.com

※令和6年度農林水産省グリーンな栽培体系の転換サポート事業の活用により実施されています。

## かながわオーガニックコミュニティ協議会について

私たちは、有機農業を志し、神奈川県愛川町にあるNO-RA(農  
 楽、代表:千葉 康伸氏)で研修を受け独立就農しました。  
 土壌改良、省力化技術等を検討するため、令和4年6月にか  
 ながわオーガニックコミュニティ協議会を設立し、実証事業を  
 始めました。

### 【実証圃所在地】

MaruHana ファーム	伊勢原市
てんとくとし 天道虫	秦野市
らくさい 楽菜ファーム	海老名市
しのつこうしょう 私農高唱	海老名市



### ニンジン有機栽培体系の確立及び 作業の効率化の実証

本圃では、私たち有機農業者を中心とする産地産農者連帯型に取り組んでいます。  
 これまで、私たち有機農業者による産地産農者連帯型で、以下の実証実験を行いました。

- 1 地域産肥の活用
- 2 緑肥作物による地力の向上
- 3 有機農業での省力化技術

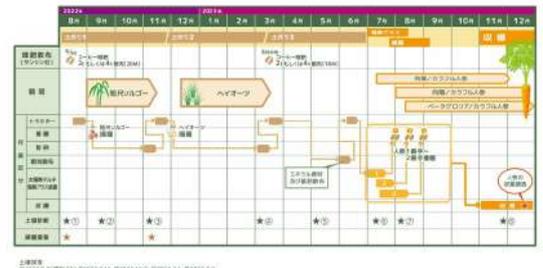
本圃では、私たちの産地産農者連帯型で、産地産農者連帯型で取り組んでいます。本圃  
 が確立した実証圃です。1年間は10月～5月まで実施した実証圃です。土壌の改良  
 を確認した。2年目は、地力回復のための省力化技術の実証実験から得  
 られた結果を実証圃の実証を行いました。

- 実証1: 地域の産地産農者から調達された肥料と産地産農者による土作り
- 実証2: 人力は種まきを用いたニンジン1種は種まき
- 実証3: 還元肥料を用いた、1種連作の農家による管理
- 実証4: 緑肥作物(玄米雑草(全草堆肥))を施用した除草効果の検証
- 実証5: 土壌改良を施用した減農薬栽培

©2024 オーガニックコミュニティ協議会

### 作業カレンダー

2022年8月～2023年12月



実証試験の成果をまとめたマニュアルデータを  
 ウェブでダウンロードしていただけます。  
[https://www.pref.kanagawa.jp/documents/30829/gre  
 enjirei1.pdf](https://www.pref.kanagawa.jp/documents/30829/gre<br/>
  enjirei1.pdf)